

|          |               |         |    |     |      |
|----------|---------------|---------|----|-----|------|
| 授業科目名・形態 | 介護総合演習Ⅱ 演習    | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 1    |
| 科目担当者氏名  | 石岡和志・柴田博・山田克宏 | 実務経験の有無 | 有  | 開講期 | 2年後期 |

### 【授業の主題】

介護実践に必要な知識と技術の統合を行なうとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。介護実習Ⅰの後に行われる演習であり、介護実習Ⅰの振り返りを行う。また、訪問介護や小規模多機能型居宅介護等サービスなど、居宅型サービスや介護の専門性の考察、介護支援技術の確認なども行う。また、次の介護実習Ⅱの実習計画についての事前指導も行う。

### 【到達目標】

- 1) 介護実習Ⅰを振り返り、介護の知識や技術を実践と結び付けて統合、深化させるとともに、自己の課題を明確にし、専門職としての態度を養う。
- 2) 利用者によくみられる疾患を理解する。
- 3) 実習にICFをどのように導入するか考察できるようにする。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 介護実習Ⅰの振り返り・介護福祉実習の分類、方法（石岡）
- 第2回 介護実習Ⅰの振り返り・実習施設の理解（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設）（山田）
- 第3回 介護実習Ⅰの振り返り・実習施設の理解（障害児施設・障害者支援施設）（柴田）
- 第4回 介護実習Ⅰの振り返り・居宅型サービスの理解（訪問介護事業所）（石岡）
- 第5回 介護実習Ⅰの振り返り・居宅型サービスの理解（小規模多機能型居宅介護等サービス）（山田）
- 第6回 介護の専門性（柴田）
- 第7回 介護実習前の介護技術の確認（石岡）
- 第8回 利用者によくみられる疾患について（山田）
- 第9回 ICFについて（柴田）
- 第10回 実習記録事例演習（石岡）
- 第11回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第12回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第13回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第14回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第15回 介護実習Ⅱに関する諸注意事項の確認と実習最終準備作業（担当教員全員）

### 【授業実施方法】

演習形式で行う。

### 【授業準備】

介護実習Ⅰで関わった利用者のアセスメント内容を整理しておくこと。

【主な関連する科目】 介護過程、介護の基本、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論

### 【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 中央法規出版

### 【参考文献】

必要時に資料を配付する。

### 【成績評価方法】

レポート等の提出物50%、授業内での発表40%、授業態度等10%の総合判定とする。

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で介護職員として介護業務を経験

介護の現場で経験を活かし、利用者主体の介護が提供できるように指導していきたい。

### 【学生へのメッセージ】

介護実習Ⅰで関わった利用者のアセスメント内容整理において重要となるICF（国際生活機能分類）の考え方を復習しておいてください。